

Wellcome Trust makes it personal in funding revamp

科学者個人を支援する研究助成金 —英国財団の新しい試み

Natasha Gilbert

Nature Vol.462(145)/12 November 2009

生物医学研究の支援を目的とする民間団体として英国最大の規模を誇るウェルカム・トラストは、その助成制度の抜本的な見直しをはかっている。

助成金を申請する研究者はこれまで、それを使って3～5年の間に行おうとする研究の内容を詳細に説明する申請書を提出しなければならなかったが、ウェルカム・トラストは、このような申請書をやめようとしている。個々の研究プロジェクトではなく、研究者個人を、より長期的に支援していくためである。ウェルカム・トラストの理事である Mark Walport は、「科学を支援する最良の方法は、人を支援することだからです」という。

ウェルカム・トラストが若手研究者とベテラン研究者のために新たに設ける研究者奨励金制度では、いずれも主として面接により、研究者本人とそのアイデアを評価し、5～7年にわたり助成を行う。申請の際には、研究者はやはり申請書を提出しなければならないが、その中で「個々の実験をどのように行うつもりかを微に入り細にわたって説明する必要はありません」と Walport はいう。

Walport は、審査の際に重視する点を変えることで、申請を行う研究者が大きな科学的問題提起を行い、その問題が重要である理由を示すことに集中できるようにし、その問題にいかにして取り組んでいくつもりであるかは面接の際にじっくりと聞き出していきたいと考えている。

ウェルカム・トラストの新しい研究者奨励金は、以前からある研究者助成金をベー

スにしている。ウェルカム・トラストの研究者助成金は、ほとんどの支援団体の研究者助成金と同じく、学術研究機関で有給の地位を得ている研究者を支援するためのものではない。「研究者助成金への申請者の面接では、申請者は自分の主張を明らかにする機会を与えられ、私たちは彼らにひらめきや独自のアイデアがあるかどうかを十分に審査することができます。私たちは、有給の地位を得ている研究者もこの制度の対象にすることで、彼らに十分な支援をしたいのです」と Walport はいう。奨励金を獲得した研究者は、申請の際に提案した研究に限らず、自分がやりたいと思うどんな研究にもそれを使うことが許されることになる。

新しい研究者奨励金の具体的な金額はまだ確定していないが、現在のプロジェクトやプログラムへの助成金と同程度の額になりそうだ。ちなみに、2008年のこうした助成金の総額は約1億1000万ポンド（約160億円）だった。研究者奨励金の第1回の申請は2010年の秋に行われ、助成は2011年の初頭に始まる予定である。Walport によると、今回の制度改革は、英国の多くの研究支援団体の問題である、助成規模の小ささと助成期間の短さに対する科学者からの不満に応えるためのものであるという。

新しい研究者奨励金が従来の支援制度に比べて広範に及ぶものになることを考えると、支援を受けられる科学者の人数は現在よりも少なくなるだろう。しかし、英国ミルヒルにある国立医学研究所の所長

であり、過去に何度もウェルカム・トラストから助成金を受けたことがある Jim Smith は、「2人や3人に不十分な助成をするよりも、1人に十分な助成をしたほうがよいのです」という。彼はまた、ウェルカム・トラストの新しい支援制度がうまくいけば、ほかの研究支援団体も同様のアプローチを考慮するようになるだろうと付言する。

ウェルカム・トラストによると、同様のシステムを採用している研究支援団体は、英国内にはほかにないはずであるという。けれども米国メリーランド州チェヴィーチェースのハワード・ヒューズ医学研究所(HHMI)は、1980年代後半から同様のシステムを採用している。HHMIは現在、3年ごとに、大きな科学的問題について概説する簡単な申請書と、より詳細な面接に基づいて、総額約6000万ドルの助成を行っている。助成金を獲得した研究者は、5年の間、自分がやりたいと思うどんな医学研究にもこれを自由に使うことができる。HHMIの副所長にして科学最高責任者である Jack Dixon は、「従来の助成制度では、助成金の申請の際に提案した分野とは違った研究を行う研究者は、いい顔をされないので普通です」という。彼はまた、研究者が研究を進める過程で新たに得た知見を掘り下げる自由を認めることが「よりよい科学」を生むともいう。Smith は、このアプローチのほうが正直であるという。なぜなら、助成金を申請してから研究に着手するまでの間に科学は進んでしまっているのが普通であるからだ。(三枝小夜子 訳) ■